

雨水貯留施設（堀池・目川貯留管）整備工事の進捗状況について

1. 雨水貯留施設（堀池貯留管）整備工事（その2）

本工事につきましては、令和 8 年 5 月から工事に着手したところですが、今般、中東情勢による影響から、推進工事用資材の供給に遅延が生じているため、本工事の工程に遅れが生じる見込みです。

つきましては、現在の進捗状況について、ご報告いたします。

1) 工事概要

- ・工事名：雨水貯留施設（堀池貯留管）整備工事（その2）
- ・工事場所：小倉町堀池地内（P3 位置図）
- ・工期：令和 8 年 2 月 4 日～令和 9 年 3 月 19 日
- ・受注者：田中創建・信和建設特定建設工事共同企業体
- ・工事延長：約 260m（貯留管径：φ 2,400 mm、貯留量：2,400 m³）
- ・請負代金額：608,520,000 円（税込）

2) これまでの経過

- ・令和 8 年 2 月：本工事の契約
- ・令和 8 年 5 月：現場着手
- ・令和 8 年 7 月：推進工事用資材の入荷予定時期の判明

3) 推進工事用資材の供給遅延について

- ・中東情勢に起因するナフサの影響により、推進工事で使用する「推進力伝達材（※）」の調達に遅延が生じている。

（※推進力伝達材：発泡ポリスチレン製のクッション材）

- ・今般、当該資材の入荷予定時期が 10 月となることが判明。
- ・6 月中旬から着手予定であった推進工事が 10 月からとなるため、全体工程において約 4 ヶ月の遅れが見込まれる。（工期末：令和 9 年 3 月 19 日 → 令和 9 年 7 月末）

4) 今後の予定

- ・令和 8 年 10 月：推進工事着手予定

2. 雨水貯留施設（目川貯留管）整備工事

本工事につきましては、令和4年4月に推進機械が破損したことから推進工事を中断しており、これまで、停止原因の調査及び工事再開に向けた検討を進めてまいりました。

現在、工事再開に向けて再発防止を踏まえた工法及び施工方法等について、受注者と協議・検討を進めております。

つきましては、現在の進捗状況について、ご報告いたします。

1) 工事概要

- ・工 事 名 : 雨水貯留施設（目川貯留管）整備工事
- ・工 事 場 所 : 榎島町目川地内（P4位置図）
- ・工 期 : 令和2年1月30日～令和9年3月31日
- ・受 注 者 : 村本・玉井特定建設工事共同企業体
- ・工事延長 : 約243m（貯留管径：φ3,000mm、貯留量：1,700 m³）
- ・請負代金額 : 1,459,310,600円（税込）
- ・進 捗 状 況 : 約97m（39本/100本中）

2) これまでの経過

- ・令和4年4月 : 推進機械が原因不明により掘進停止
- ・令和4年10月 : 推進機械の停止について、本常任委員会へ報告
- ・令和6年6月 : 調査立坑の掘削が完了
- ・令和6年7月～ : 推進機械の分解調査及び掘進停止原因の検証を実施
- ・令和7年12月 : 機械停止に係る原因調査結果について、本常任委員会へ報告

3) 工事再開の検討状況

- ・停止原因の調査時に掘削した調査立坑を活用し、同立坑から推進工事を再開する方向で検討を進めている。
- ・推進工法については、再発防止を図る観点から、泥水式に限らず、複数の工法について、施工性、安全性、現場条件等を踏まえた検討を行っている。
- ・推進機械については、工法の如何に関わらず、メタンガスによる爆発・引火等を防止するため、防爆改造が必要であり、推進機械の現場搬入は令和9年度となる見込み。
- ・引き続き、早期の工事再開に向け、再発防止を踏まえた工法及び施工方法の詳細について、受注者と協議の上、決定していく。

以上

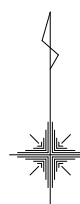
位置図

雨水貯留施設（堀池貯留管）整備工事（その2）

到達立坑

旧北小倉小学校

N



発進立坑

延布
貯留管φ2,400mm
L=約260m

(貯留管φ2,400mm)
L=27m

工事区間
L=27m

市道 小倉安田線

城南菱創高等学校

位置図

雨水貯留施設（目川貯留管）整備工事

N

到達立坑

調査立坑箇所での
再発進を検討

発進立坑

宇治西IC出口

京滋バイパス

宇治西IC

宇治西IC

市道 目川南北線

市道 横島町23号線

延長L=約243m
貯留管φ3,000mm
貯留量1,700m³

残り延長L=約146m

施工済みL=約97m